



日本聖公会 神戸教区報

神のおとずれ

2021年
1月号

発行所
神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
<https://www.nskk-kobe.org/>

発行責任者
司祭 上原 信幸

印刷所
文明堂印刷所

神戸教区第九十 (定期)教区会開会演説

主教 オーガスチン 小林 尚 明

本日、ここに日本聖公会神戸教区第九十(定期)教区会を開催するにあたり、教区事務所二会場、各教会十一会場にご参集頂き、心から感謝申し上げます。

また今回の教区会をリモート形式で行うために、「リモート教区会準備委員会」を立ち上げ、準備してきました。委員の皆様には、何度も準備委員会や教区会の予行演習も開催していただきました。ありがとうございます。委員の皆様

に十分な準備をしていただき

ましたが、初めてのことなので、思いもよらないことが起こるかもしれません。その際は、ご理解いただければ幸いです。今回のコロナ禍の中、リモートで行われる教区会に聖霊なる神様のお導きを祈りながら、始めたいと思います。よろしくお願いたします。

人事

まず、はじめに今年度の人事についてご報告いたします。

今年三月一日付で、柳本博人司祭を神戸聖ミカエル教会牧師に、瀬山公一司祭を浜田基督教会牧師、松江基督教会、広瀬基督教会管理牧師に、林和広司祭を明石聖マリア・マグダレン教会牧師、洲

本真光教会管理牧師に、浪花朋久司祭を松山聖アンデレ教会牧師、大洲聖公会管理牧師にそれぞれ任命しました。また大阪教区磯崎久主教から大阪教区は教役者が不足し、助けてほしいという強い要請と本人の希望により原田佳城司祭に三年間の大阪教区出向を命じました。牧師にとつての転勤は、それまでの牧会を反省し、心を新たにされる機会になります。信徒の皆様と協力しながら、新任地でのそれぞれの働きを期待しています。

四月一日付、聖公会神学院での一年間の「研究休暇」を終えた中原康貴司祭を高知聖パウロ教会牧師に任命しました。神学院でのよき学びとリフレッシュが、高知での宣教・牧会の力となりますように期待しています。

五月一日付、一年間の神戸聖ペテロ教会での副牧師の働きを経て、遠藤雅巳司祭を同教会の牧師に任命しました。

六月二十日、宮田裕三聖職候補生を徳島インマヌエル教会において、執事に按手しました。本来の聖職按手式は、大聖堂で行われるのですが、今回のコロナ禍の中、三月に予定していた按手式が延期になっていました。徳島の四つの教会から一日も早い按手式の執行の嘆願書が提出され、その思いを汲んで、行いました。同日、宮田裕三執事を徳島インマヌエル教会・徳島聖テモテ教会・富岡キリスト教会・鳴門聖パウロ教会牧師補に任命しました(聖テモテ教会居住)。

九月二十一日、三月と八月の二度の予定をコロナ禍のために延期していました永野拓也執事の司祭按手式を広島復活教会で行い、同日同司祭を広島復活教会副牧師に任命しました。この按手式も広島復

活教会の皆様からの嘆願書を頂き、常置委員会に諮り行いました。二度の延期という経験の中で、同司祭が信徒の皆様からの期待をしっかりと受け止めたことは、一生の財産となると思います。広島での司祭としての働きを期待しています。

九月九日、遠藤洋介執事は、管区共通聖職試験(教理)を受け、合格しました。一日も早い司祭接手を希望していますが、コロナウイルス感染の状況を見ながら日程を決めていきたいと考えています。

新型コロナウイルス感染症対策

三月一日に兵庫県で初感染者が報告され、その二日後には神戸市在住者の感染が確認されました。神戸教区としての対応は、三月十日の第八回常置委員会において、「新型コロナウイルス対策室」を立ち上げ、室長に瀬山会治司祭

を任命し活動してきました。

三月三十日付「礼拝における新型コロナウイルス感染症防止対策のお願い」を発信し、教役者・信徒の皆様へ感染防止対策の指針を示し注意を促しました。

日本政府は、四月七日兵庫県など七都府県を対象に緊急事態宣言を発令し、四月十六日にその対象地域に四十道府県を追加しました。これに伴い、神戸教区の全教会・伝道所の共同の礼拝を自粛しました。日本政府は、この緊急事態宣言を五月二十五日に解除しました。これを受け神戸教区のいくつかの教会は、教会委員会の合意のもと、共同礼拝を再開しました。このため「礼拝における新型コロナウイルス感染症防止対策のお願い」を五月三十一日付「新型コロナウイルス感染症防止対策ガイドライン」と改訂し、皆様の教会生活の注意喚起を行ってきました。対策室の活動と指針

を皆様ご理解し、実践してくださり、対策室の活動以降、神戸教区の信徒の感染報告はありません。

ただ現在の状況は、専門家によれば既に感染拡大第三波が日本を襲っている状態で、今後このコロナウイルスと共に生活していくことを余儀なくされるといいます。このコロナ禍にあつて、いかに教会の宣教の働きを進めていくことができるのか、対策室、宣教委員会、常置委員会と相談しつつ、考えていきたいと思えます。

日本聖公会第六十五(定期)総会決議より

十月二十七(火)～二十九日(木)まで、日本聖公会第六十五(定期)総会がリモートで行われました。二年間の諸報告と二十六議案が審議されました。その中から三つのことをお話いたします。

(法規二二八条)の一部を改正する件」です。これは、日本聖公会を三つの宣教協働区に分け、各協働区に協働委員会を設け、区内の運営、宣教・牧会などについて協働を推進し、教区再編について検討すること。また再編に向けての、教区主教を持たない管理主教のもと「伝道教区」という過渡期的な共同体の在りようが承認されました。神戸教区は、九州教区、沖縄教区と共に宣教協働区を作ります。協働委員は各教区主教、各教区が選任する聖職と信徒各一名からなります。この三教区は、平和についてこれまでも沖縄週間や広島平和礼拝、長崎原爆記念礼拝を共に行い、教役者修養会・研修会も共催してきました。今後は、協働委員会のもと区内の様々な課題について、一緒に解決を図っていききたいと考えています。

二つ目は、「日本聖公会宣教協議会開催および実行委員

会設置の件」です。これは、二〇一二年九月、静岡県浜名湖で開催された宣教協議会の提案を受けたものです。十年後の二〇二二年に、十年間の宣教・牧会の果実を持ち寄り、日本聖公会の現状と課題を分かち合い、これからの宣教に関する方針と方向性を作成しようというものです。その課題の中には、今年二月以降の新型コロナウイルス感染拡大に伴う教会生活への影響もあります。このコロナ禍

は、これからも続くと思われませんが、私たちは教会の在り方や礼拝、牧会、この世界との関わりなど取り組んでいかなくてはなりません。具体的には、二〇二二年十一月四日(金)～七日(月)山梨県清里にあります清泉寮を会場に、各教区参加者八名(主教・聖職・信徒・女性・青年・財政担当・宣教担当、管区関係諸委員会代表者、諸団体代表者など一四〇名が集う

予定です。この宣教協議会実行委員として、杉野達也司祭が奉仕いたします。

三つ目は、『聖書 聖書協会共同訳』の認許および『日本聖公会法規』の一部を改正する件です。これは、二〇一八年十二月に発行された日本聖書協会発行『聖書 聖書協会共同訳(旧約聖書統編付き)』を公禱、

聖奠およびその他の諸式において用いることができる聖書として認許し、「日本聖公会法規」第一七一条の別表二を訂正するためのものです。新共同訳聖書が刊行されてから三十年余りが経過しています。今回の新訳により、日本語としての完成度を高め、その後

の学問上の進展が取り入れられています。

また日本の教会の標準訳となること、すべてのキリスト教会での使用を目指し、礼拝で用いることを主要な目的とし、礼拝での朗読にふさわしい、格調高く美しい日本語訳

を目指されています。各教会で新しく用いるためには、教区委員会、堅信受領者総会などでの周知徹底に時間がかかるものと思います。しかし二〇二四年の総会に提出される改正祈禱書には、この聖書が用いられると聞いています。今から手元に求められ、慣れ

来年に向けて神戸教区が行おうとしていること

・神戸教区宣教方針の策定

今年六月、教区宣教委員会から各教会に「宣教アクションプラン 教会活動アンケート」を行いました。そのアンケートの中に、神戸教区としての宣教方針、具体的な活動方法、宣教方策のアイデアを示してほしい、という声がありました。またアンケートの集計、報告書作成時に、神戸伝道区の信徒三名の方から、神戸教区の現状の緻密な分析と課題を示していただきました

た。これらの意見を真摯に聞き、来年度、宣教委員会を中心に「神戸教区の宣教方針」を策定して参ります。

宣教委員会だけでは、作成が難しいと思います。広く皆さんのご意見をお聞きすることになると思います。ご協力をお願いします。



・特任聖職志願者の発掘、養成、教区民への啓発

今年度の神のおとずれ七月号に、神学塾運営委員長でもある中原康貴司祭の「論説・特任聖職」が掲載されています。そ

の結論部分で、「海外では特任聖職が《専任聖職と信徒》《教会と地域や職場》を結ぶ宣教の架け橋となり、欠かすことのできない存在となっております」という説明があります。また、今教区会の報告書一〇二ページの聖職候補生養成委員会報告には、特任聖職を目指す人々への養育・訓練の準備の必要性が述べられています。今年の八月から定期常置委員会

で、この問題を検討してきました。そして十月十五日の委員会で、「神戸教区における特任聖職志願者の発掘および養成、教区民への啓発について、教区主教が神学塾運営委員会、聖職候補生養成委員会と相談しながら進めていく」ことを承認していただきました。

現在考えている「特任聖職」

とは、「無給で、その働きが、住んでおられる地域に限定される。しかし正当な手続きを経て、日本聖公会の聖職とし

て正式に接手された聖職」というものです。私たちの神戸教区にはかつて、神戸の八代学院で働きながら執事職を担われた中村四朗執事や、広島府聖モニカ幼稚園で園長として働かれた嶋田克己執事がおられました。この問題について、私も勉強してきました

が、一つ皆さんに紹介したい文章は、一九九四年の「日本聖公会の現状及び将来に関する主教会の見解(管区事務所HPに掲載)」の中で、「都会型農村型を問わず、教会の中での特任聖職の活躍の場は無限であり、各教会が一人以上の特任聖職を持つときに、専門化された専任聖職とのチーム・ミニストリーによって、宣教の活性化が計られると確信する。」とまで、踏み込んだ発言がされています。

私たちの神戸教区も少しずつ神のおとずれの主教のコラムなどに、この「特任聖職」のことを書き、皆様のご理解を



得ながら、志願者の発掘、養成を行っていききたいと考えています。そして、今年はコロナ禍のため開催できませんでしたが、信徒奉事者の研修「勸話・奨励セミナー(信徒神学塾)」の学びと連携しながら進めていければ、より豊かな奉仕職の養成になると考えています。

コロナ禍は、なかなか収まりそうにありません。その中にあっても神様に喜ばれ、必要とされる教会を目指して進んでいきたいと考えています。今後も皆様のご理解とご協力をよろしく願っています。

(神戸教区主教)

第九十(定期)教区会報告

十一月二十三日(月・祝)、

神戸聖ミカエル大聖堂、他十二カ所を会場に、日本聖公会神戸教区第九十(定期)教区会が開催されました。今年度は、コロナ禍のため、感染防止策として教区史上初のリモートでの開催となりました。教区会をリモートで実施するにあたり、十月にリモート教区会準備委員会が設置され、準備が進められました。

当日は、教役者議員二十二名、信徒代議員三十二名が出席し、全ての議案が可決されました。また常置委員選挙が行なわれ、次の方々がそれぞれ当選しました。

二〇二一年常置委員

【聖職】 司祭 芳我 秀一

司祭 上原 信幸

司祭 瀬山 会治

【信徒】

覚前 康子
松田 嘉彦
宮永 好章

(第九十定期教区会書記)
司祭 浪花朋久

堅信五十年顕彰者

今年、下記の方々が堅信五十年を迎えました。おめでとうございます。

【神戸聖ミカエル教会】

キャサリン 左近 節子
ミカエル 吉田 弘

【神戸昇天教会】

マリ ア野木 芳子

【岡山聖オーガスチン教会】

マリ ア萩岡 明子

【広島復活教会】

ベタニアのマリア

前田 信子

ベタニアのマリア

谷 照子

マリ ア中川 恵子

【高松聖ヤコブ教会】

アグネス 西村 佳津子

【徳島インマヌエル教会】

ロイス 糸林 睦子

以上九名



十一月十五日(日)

司祭 ヨハネ 佐藤 眞一

十一月七日(土)
カレブ 今村 嘉禮武
高知聖パウロ教会

ご逝去

鳩だより

《敬称略》

祝 堅 信

十一月十一日(日)

アンドレア 佐藤 悦子

徳島インマヌエル教会

十一月三日(火)

マーガレット 常長 秀子

岡山聖オーガスチン教会

2月の教区関係教役者逝去記念聖餐式

日時 2021年2月4日(木) 午前10:30
場所 神戸聖ミカエル大聖堂
司式 主教 小林 尚明
説教 執事 河村 博之

* 2月の記念逝去教役者

3日	司 祭	ハリー	ウッドワード
5日	司 祭	パークレイドン	バックストーン
5日	司 祭	ヤコブ	牧野興三郎
5日	主 教	モーセ	村尾 昇一
6日	司 祭		竹内 宗六
7日	宣教師	ホリア	ウォージントン
11日	司 祭	ヨハネ	中道 政市
12日	伝道師	ルツ	小南 アサ
12日	伝道師		高木 ぬひ
13日	宣教師	フローレンス	ファギル
16日	司 祭	ジョージ	ブライドル
17日	司 祭	ジョージ	ポ ー ル
20日	司 祭	ヨセフ次	田中 愛次
23日	伝道師		西村 ひろ
不明	宣教師	アリス	パーカー